

礼儀

古座川町立古座中学校 3年 原 くるみ

私は最近、気になることがありました。それは、私が電車に乗ったとき、他の乗客がいるのにも関わらず、床に座ったり、寝転がったりしている人がいたことです。

私はこの光景を見て、少し怒りを覚えました。なぜなら、他にいる乗客に失礼だと思ったからです。私はこのような振る舞いに対して、礼儀がないと思ってしまいます。

礼儀とは、社会のきまりにかなう人の行動、作法によって敬意を表すことです。また、礼儀正しい人とは、挨拶や言葉遣いなどの基本的な作法を守り、相手を敬い、謙虚な姿勢である人のことを指すらしいです。

礼儀は、目上の人や初対面の人にはもちろん、仲の良い友だちや家族であっても気をつけなければなりません。しかし、あなたは礼儀正しくできていますかと聞かれると、自信を持って「はい」とは言えないと思います。特に、友だちや家族には、気をつけてはいるものの、礼儀を欠いてしまうことが多いように感じます。

そんな私ですが、礼儀がどれほど大切かを実感する出来事がありました。私は中学校に入ってすぐ、テニス部に入りました。毎日、一生懸命に仲間たちと練習をして、上手になっていくことに嬉しさを感じていました。そんななか、私が二年生になってしばらくして、試合形式の練習がありました。私は特に仲の良かった A ちゃんとペアを組みたいと思っていたので、練習が始まる前に A ちゃんと組みたいと言っていました。しかし、結局三年生の先輩とペアを組むことになりました。私は何も考えずに、「A ちゃんと組みたかったな」と言ってしまいました。顧問の先生がそれを聞いて、「ペアを組む子に失礼だろ」と怒られました。

た。そのことを母に伝えると先生と同じことを言われてしまいました。

先生と母に怒られて、私が言ってしまった言葉が先輩をどれだけ傷つけるような言葉だったのかに気づきました。無意識のうちに言ってしまった言葉が人を傷つけていたかもしれないなんて思いもしませんでした。私は取り返しがつかないことをしてしまったと思い、とても後悔しました。

このとき、「親しき仲にも礼儀あり」という言葉が頭に浮かびました。私は親しい人にお礼を言ったり、敬語を使ったりするという意味だと思っていました。礼儀は、敬語を使ったり所作であつたりと、堅い印象があるものです。確かにそれも礼儀に違いないのですが、それだけが礼儀ではないということに気づきました。礼儀とは、相手のことを大切に思う気持ちなのではないでしょうか。例えば、「おはよう」や「いただきます」といった挨拶も礼儀だし、疲れている人を見て、「大丈夫」と声をかけるのも、相手の立場になって言葉を発するだけでも礼儀といえると思います。だから、礼儀は初対面の人や目上の人にはもちろん、親しき間柄の人にも意識しなければならないものだと思います。

私は今年で中学校を卒業します。日本では二〇二二年に成人年齢が引き下げられて、十八歳から成人になります。これから高校生になり、社会人になっていく中で、これまでとは違った人間関係ができてくると思います。礼儀はよりよい人間関係を築いていくために、とても重要なものだと思います。また、日本は世界の中でも礼儀正しい国だと言われています。その印象がずっと長続きしてほしいと心から思いました。それと同時に礼儀がいいのは、日本の誇りでもあると思いました。だから、私はこれから今よりもっと礼儀を大切にしたいし、世界中の人々が礼儀正しく、人を傷つけることのないように生きてほしいです。それが今の私の願いです。